

■吉富簡一 地方政治家。長州藩にあって志士を支え、維新後、山口県政に重きをなし、"矢原將軍"と称された。  
よしとみかんいち  
適塾ホーリー。 1838= 長州藩の周防国吉敷郡矢原村(山口市)で、\_代々庄屋で大庄屋を勤めた吉富家惣右衛門の長男に生まれる。

阿部正弘首座1845= 7歳：

・・・・・ 1847= 9歳：

ペリー來航・1853=15歳：  
開国開港・・1854=16歳：父の病気により家督を継ぐ。

松下村塾・・1856=18歳：

桜田門外変・1860=22歳：

\_一貫して尊王攘夷派を支援し、周布政之助の活動を助け、

禁門の変・・1864=26歳：\_馬關攘夷費として藩札85貫を献納し、士籍に編入された。知行米12石5斗。  
薩摩藩士密航1865=27歳：\_諸隊挙兵のときは、同志とともに鴻城軍を組織、閉門謹慎中の井上馨を総督に推し、みずからは參謀兼会計長として活躍した。

明治維新・・1868=30歳：\_明治維新後、上京,  
\_この間の脱退騒動には、木戸孝允を助けて叛乱鎮撫に当たる。

初の日刊新聞1870=32歳：小菅県大属,  
廃藩置県・・1871=33歳：\_大蔵省営繕寮大属となったが、〈廃藩置県〉で、藩債処分によって五千石にのぼる藩への債権が切り捨てられ、家計再建のため帰郷した。

明治6年政変 1873=35歳：  
佐賀の乱・・1874=36歳：井上馨の先取会社の大坂店頭取となるが、

三つの内乱・1876=38歳：同社解散により帰郷。  
西南戦争・・1877=39歳：\_山口県協同会社議員として県政に登場、

沖縄県編入・1879=41歳：\*初代県会議長となり、自由民権論に対抗して独特の反民権論を提唱、

明治14年政変1881=43歳：  
新体詩抄・・1882=44歳：\*鴻城立憲政党を結成して主幹となった。  
岩倉具視没・1883=45歳：  
秩父事件・・1884=46歳：\_防長新聞社を創立して社長。

帝国憲法発布1889=51歳：  
帝国議会始・1890=52歳：\*第1回衆議院総選挙に当選、通算3期。

大本教・・・1892=54歳：

日清戦争始・1894=56歳：

田中正造直訴1901=63歳：

日露戦争終・1905=67歳：

韓国併合・・1910=72歳：  
\_晩年に至るまで長州閥の故地山口県の県政に重きをなし、"矢原將軍"と称されて、  
明治天皇没・1912=74歳：

第一次大戦始1914=76歳：\_没した。